

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AndYouせんだい			
○保護者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 6月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動において個々のペースで合わせて過ごすことができること。	・自由な遊びの日を月に一度取り入れている。	・子どもたちの遊びの中から、好きな遊びをピックアップして環境整備を行う。
2	・自由な活動と教室の双方から子どもたちの好きな活動を見つけていける点。	・子どもたちの声に耳を傾けながら企画を考慮している。	
3	・子どもたち同士の関わり。	・障害の程度に関わらず、色々な子同士で接点を持てるように環境作りを行っている。	・集団活動と個人活動を繰り返し定期的に取り入れる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・身体介助の環境整備。	・子どもによって介助スペースが合わないことがある。	・マットや部屋割りの工夫。
2	・職員のスキルアップ。	・経験や知識によって対応のばらつきがある。	・研修や引継ぎ、共有を細目に行う。
3	・地域とのつながり。	・交流できる範囲が狭い。	・周辺施設との関わりを含んだ活動を取り入れていく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AndYouクッキングハウス			
○保護者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 6月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・就労に向けた活動プログラム(料理教室、就労体験)を取り入れている。	・利用者様の将来を見据え、早目に就労についての理解を深めてもらえるような活動内容を工夫している。 ・同法人内就B施設にて活動することで、就労に対する具体的なイメージが持てるようにしている。	・就労に対して前向きなイメージが持てるよう、利用者様が自分で活動内容を選択し、自分のペースで取り組めるようにしていく。
2	・異年齢交流が図れる。	・様々な活動プログラムの中で、異年齢交流が図れるような環境や、利用者様同士が互いに相談、協力し合えるような環境を整えている。	・利用者様の年齢に合った玩具を取り入れたり、大人が遊びに加わりながら、利用者様同士の交流の幅が自然に広がるようにしていく。
3	・同法人内他事業所との情報共有を密に行っている。	・利用者様が同法人内事業所を併用している際には、日々の情報共有を密に行い、利用者様への支援に相違がないようにしている。	・学校、保護者様、他機関と利用者様の状況を共有し、利用者様に関わる人々と共通理解が図れるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・イベント等において、保護者様同士の交流が図れる機会が少ない。	・年間通し定期的にイベントはあるが、保護者様同士の交流が図れるプログラム内容は含まれていない。	・保護者様同士関わる事が出来るようなイベント内容を積極的に取り入れ、多くの方が繋がり合える機会を増やしていく。
2	・活動のスペースが十分ではなく、バリアフリーの環境ではない。又、建物の老朽化が進んできている。	・室内をバリアフリー化にすることで、活動のスペースがより狭くなり、利用者様が活動する上で危険を伴うことがある。 ・築年数が経っているため、部分的な修理ではおさまらず、費用がかかる。	・活動内容によって室内のスペースを確保することが出来るよう、移動可能なバリアフリー(スロープ等)の設置を検討していく必要がある。 ・外部への修理依頼のみではなく、個人で修理出来る部分を行い、費用をおさえ、利用者様が過ごせる場を整えていく。
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AndYouフレンドパーク			
○保護者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 6月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	講師を招いて活動している教室がある（ダンス教室・料理教室・キッズヨガ・音楽教室など）	講師の方とコミュニケーションをとりその日の子どもの状態などを共有している	集中できる環境作りや子供たちの意見を取り入れた活動作りを行っていく
2	自然との触れ合いがある（このはな牧場に定期的に訪問）	季節に応じた活動を取り入れながら、自然に触れ合える環境作りをしている（虫探し・雪遊び・火起こしなど）	子どもたちの冒険心・自発性を尊重し危険なこと以外はできる限り行えるようにする
3	子どもたちとの関わり方	自由時間においてゆっくり過ごしたい子・体を動かしたい子などその時の気分に応じて職員が子供たちに対応している（サッカー・鬼ごっこ・お絵描き・ままごとなど）	おもちゃや遊び道具の充実 送迎時にお子様様子を映像で見せたりして保護者様へも活動中の様子を細かく知ってもらう

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境設備面において不十分な部分がある	防寒・暑さ対策・冬場の手洗いなどが不十分	壁への工夫・給湯器の設置などをできるようにしていく
2	地域とのつながりが少ない	この建物で何をしている場所かわかっている人が少ない	看板の設置やSNS等での発信
3	SNS等を利用した発信が出来ていない	個人情報の関係でどこまでできるかわからない	今後発信できるように準備を進めていく

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AndYouスポーツパーク			
○保護者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 6月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・現役のフットサル選手によるフットサル教室	楽しむことだけではなく、「ルールを守る」「協力をする」といった普段の生活の中でも役立つ能力が身につくように意識している	お子様達の声や様子をより細かく聞いていき教室の中に取り入れていく
2	・自由時間の充実	教室が始まる前の時間で自由時間を多く確保していて、その中でお子様のやりたいことが出来るような環境作りを行い、お友達同士や職員との遊びを楽しんで頂いている	お子様達のやりたいところが増えていくように遊びの提案やおもちゃや道具の充実を図る
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・障害のない方々と関わる機会が少ない	普段の活動の中では、事業所内やフットサル場での活動になるので事業所の人以外に関わる事があまりない	イベントや外出企画を活用し、事業所の人以外との関りも増やしていけるようにしていく
2	・SNS等を利用した情報発信ができていない	個人情報の観点でこれまでは情報発信は行っていなかった	HPやSNSを使い情報発信ができるように、準備を進めている
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AndYouぽけっと			
○保護者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 6月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・季節に合った活動プログラムを実施している。	・企画立案時、職員間で話し合ってアイデアを出し合っている。 ・お子様達の直近の反応や話題を確認しながら、活動プログラムに取り込んでいる。 ・法人内で家族参加イベント等を実施している。	・感染症の時期を除いて、家族参加ができるイベントや季節ごとに楽しめるイベントを考えていく。
2	・学校や相談支援事業所と情報共有を行っている。	・学校や相談支援事業所等との日頃のコミュニケーションを大切にしている。	・これまで同様に、学校へのお迎えの際など担任の先生方とよく情報を共有し、お子様にとってプラスとなる支援ができるように取り組んでいく。 ・相談機関との連携も深めていく。
3	・お子様達も保護者様達も、安心して利用している。	・活動時以外の時間も、お子様達との時間を大切にしてコミュニケーションを取っている。 ・日頃の様子を詳細に報告し、保護者様との相談やアドバイスを親身になって行っている。 ・活動の様子等、詳しく良いところも悪いところも報告している。	・良いことだけでなく、不安定だったことや不安定になる要因となるものを保護者様へ伝え、穏やかな気持ちで毎日の生活を送れるようにしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・スタッフの入れ替わりがある。	・職員の研修及び勤務形態の変更により、止むを得ず配置換えを行わなければならない。	・可能な限り職員は固定としたいが、様々なタイプの職員との関わりの中でお子様が関係性を築く練習となれば良いと考えている。 ・学校含め、集団の中での関りには必ずしも気の合う者が全員揃うわけではないため、人間関係を学ぶ場としても支援を行えるようにしていきたい。
2	・バリアフリーの環境ではない。	・立地や利便性を考えた場合、現在の場所が安全性が一番保てる場所と考えているが、肢体不自由児の受け入れなどを行っているため、一部改善を視野に入れる必要はある。	・バリアフリーではないが、場所を工夫して使うなど活動を設定する際に考えていく。 ・肢体不自由のお子様との関りを通して、お互いに相手を大切にする気持ちを養っていけるような活動を設定していく。
3	・SNS等を活用しての情報の発信ができていない。	・個人情報の観点を踏まえ、SNS等を使つての活動報告は行っていないかった。	・現在HPやSNSを使つての活動報告を行えるように準備を進めている。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AndYouなとり			
○保護者評価実施期間	令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 5月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動プログラムに取り組んでおり、利用者様や保護者様の課題・ニーズに応じて運営を行うことができている。	支援プログラムの充実を図るため、常に活動状況や利用状況のモニタリングを行い、状況に応じた内容への向上を目指し職員間で検討・行動を繰り返し行っている。	利用者様や保護者様への支援プログラムについて定期的な確認を行い、既存の支援プログラム発展・新たな支援プログラムの提供を目指す。
2	事業所の運営やお子様の利用状況について適切に保護者様へ説明を行うことができる。	用途に応じた資料を用いて説明を行っている。また、お子様の利用状況については丁寧に説明を行い、状況に応じて「電話・メール・連絡帳」等を用いて説明を行っている。 ※事業所参観や発表会などの開催。	既存の情報共有ツールだけでなくニーズに応じた情報共有ツールの導入や懇談会などの検討を行っていく。
3	緊急時対応マニュアルや非常災害時の対応について「職員・保護者様・利用者様」と情報共有ができている。	資料を用いて災害時の説明を行い、避難訓練の実施について書面を用いて情報の共有を行っている。	様々な災害に対応できるよう常に問題意識をもって情報の共有を行い、災害に対応できる準備を行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士が情報交換できる場の提供ができていない。	保護者様同士が情報交換できる活動内容・環境の整備ができていないため。	保護者様参加型の活動の提供を増やしていく。また、ニーズに応じて懇談会などの開催を検討していく。
2	ホームページ等で活動概要、利用状況などの発信が円滑に行えていない。	ホームページの周知が不十分であるため。また更新頻度が低い。	新たなホームページの運用を行い、状況に応じた情報の公開・利用の様子などの情報公開の頻度を増やしていく。
3	関係機関と情報を共有する機会が多くはない。	関係機関と情報の共有を行う場面が少ないため。	自発的に情報共有する場面を設ける。また、地域自立支援協議会等へ積極的に参加し情報の共有を行っていく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AndYouフレンドパークみなみせんだい		
○保護者評価実施期間	令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 5月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援内容や利用者負担、利用状況などについて適切な説明を行い運営されている。	用途に応じた資料を用いて説明を行っている。また、お子様の利用状況に応じて「電話・メール・連絡帳」等を用いて説明を行っている。 ※事業所参観や発表会などの開催。	既存の情報共有ツールだけでなくニーズに応じた情報共有ツールの導入や懇談会などの検討を行っていく。
2	十分な活動スペースが確保されていると認識されている。	活動内容に応じたスペースが確保できるよう、事業所だけでなく外部での活動を取り入れている。	事業所や既存の外部の活動場所だけでなく、常に問題意識を持ち活動場所の検討を行っていく。
3	客観的に利用者様や保護者様の課題・ニーズを把握して計画が作成されており、活動プログラムが構築されている。	活動内容の充実を図るため、活動状況や利用状況のモニタリングを行い、状況に応じた内容への向上を目指し職員間で検討・行動を繰り返し行っている。	利用者様の課題や保護者様のニーズについて定期的な確認を行い、既存の支援プログラム発展・新たな支援プログラムの提供を目指す。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々なコミュニティへの参加が少なく、障がいのない者との関わりをもつ機会の提供が少ないと感じられている。	法人内や事業所単位での活動交流が主であり、様々なコミュニティへ参加する機会が少ないため。	積極的に様々なコミュニティへ参加する機会を増やしていく、いろいろな関わりの提供を目指していく。
2	保護者様同士が情報交換できる機会の提供が少ないと感じられている。	事業所を通して保護者様同士が情報交換できる活動内容が少ないため。	保護者様が参加しやすい活動の提供を増やしていく。また、ニーズに応じて説明会や懇談会などの開催を検討していく。
3	ホームページ等で活動概要、利用状況などの発信が円滑に行っていない。	ホームページの周知が不十分であるため。また更新頻度が低い。	新たなホームページの運用を行い、状況に応じた情報の公開・利用の様子などの情報公開の頻度を増やしていく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AndYouわくわくハウス		
○保護者評価実施期間	令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 5月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置数や専門性、十分な活動スペースが確保されて運営していると認識されている。	活動内容に応じた専門分野の講師の招聘、活動場所の選定を行い運営を行っている。	利用者様や保護者様のニーズに応じた活動内容の構築を目指し、常に問題意識をもって運営や支援を行っていく。
2	緊急時対応マニュアルが適切な周知されており、避難訓練などが定期的に行われていると認識されている。	資料を用いて災害時の説明を行い、避難訓練の実施について書面を用いて情報の共有を行っている。	様々な災害を想定した訓練を行い、利用者様・災害状況に応じた対応ができるよう情報の共有を行っていく。
3	色々な活動プログラムに取り組んでおり、利用者様や保護者様の課題・ニーズに応じて運営を行うことができています。	支援プログラムの充実を図るため、常に活動状況や利用状況のモニタリングを行い、状況に応じた内容への向上を目指し職員間で検討・行動を繰り返し行っている。	利用者様や保護者様への支援プログラムについて定期的な確認を行い、既存の支援プログラム発展・新たな支援プログラムの提供を目指す。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ホームページ等で活動概要、利用状況などの発信が円滑に行えていない。	ホームページの周知が不十分であるため。また更新頻度が低い。	新たなホームページの運用を行い、状況に応じた情報の公開・利用の様子などの情報公開の頻度を増やしていく。
2	バリアフリー等の配慮が適切ではないと感じられることがある。	事業所が3階に位置していることや活動に応じて活動場所へ移動となることがあるため。	状況に応じてエレベーターの使用や活動場所の見直しを行っていく。
3	保護者様同士が情報交換できる活動内容、環境の構築ができていない。	既存の活動内容だけでは情報交換できる機会や時間が少ないため。	保護者様のニーズの把握を行い、状況に応じて保護者様参加型の行事の開催を検討していく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AndYou楽楽			
○保護者評価実施期間	令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 5月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様や保護者様の課題・ニーズに応じた計画が作成されており、活動プログラムが工夫されている。	常に活動状況や利用状況のモニタリングを行い、状況に応じて支援内容の変更や活動内容の選定を行っている。	適切な支援プログラムや支援計画を目指し、利用者様や保護者様のニーズを把握する機会を設け運営行う。
2	事業所の運営やお子様の利用状況、利用者負担等について適切に保護者様へ説明を行うことができる。	用途に応じた資料を用いて説明を行っている。また、お子様の利用状況については状況に応じて様々なツールを用いて説明を行っている。	ニーズに応じた情報共有ツールの導入や懇談会などの検討を行っている。
3	活動内容に応じた十分な活動スペースが確保されていると認識されている。	利用者様の状況に応じた対応できるスペースを確保できるよう心掛けている。	今後は事業所だけでなく活動内容に応じた活動場所の検討をしていき、支援の向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的にホームページの更新が行われておらず、円滑な情報共有ができていない認識されている。	定期的にホームページの更新を行い最新の情報提供を行う必要がある。	円滑なホームページの運用を目指し、更新頻度をあげていき情報の共有を目指していく。
2	職員だけでなく、保護者様同士が情報交換できる場の提供が不十分である。	保護者様同士が情報交換できる活動内容・環境の整備が不十分のため。	保護者様のニーズの把握を行い、保護者様対象の説明会や懇談会の開催を検討していく。
3	関係機関と情報を共有する場が少ないと感じられる。	様々な関係機関と情報を共有する場面や頻度が少ないため。	自発的に情報共有する場面を設ける。 積極的な地域自立支援協議会への参加や就学前の施設等と情報の共有を行っていく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	AndYouTRY			
○保護者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	R6年 5月 1日 ～ R6年 5月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 6月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外部講師を招いた教室活動を取り入れていること。 音楽教室、ズンバダンス教室、フットサル教室など、多様なプログラムを通じて、子どもたちが集団活動の楽しさを学びながら、社会性や協調性を育むことを目指している。専門的な指導を受けることで、お子様の興味・関心を広げ、自信の向上を目指している。	ただ楽しむだけでなく、活動を通じて「順番を守る」「協力する」「ルールを理解する」といった社会性の向上を意識している。	各教室の活動ごとに「どのような力を伸ばすことを目的とするのか」を講師と話し合いを行う事で、内容を明確にし、より意識的に取り組めるようにしていく必要がある。
2	町内の支援級に通うお子様が多く在籍しており、人間関係を学ぶ機会が豊富。日々の関わりの中で「相手の気持ちを考える」「自分の気持ちを伝える」「協力して取り組む」といった社会性を育むことができる。それぞれの個性や考えを持つお友達と過ごすことで、お互いを尊重し合いながら成長できる環境を大切にしている。	子ども同士のトラブルがあった際は、すぐに解決するのではなく、お互いの気持ちを整理する時間を設け、適切な言葉で伝える練習をしている。 必要に応じて職員がサポートしながら、どうすれば良かったかを一緒に考える機会を作っている。	日常の場面を想定したロールプレイやゲーム形式の活動を取り入れ、楽しみながら適切なコミュニケーションの方法を学べる機会を増やしていく必要がある。 利用者様の特性に応じた適切なサポートができるよう、職員間で事例共有を行い、支援の質を向上させる必要がある。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	楽しく学びながら成長できる環境を提供しているが、大人になるために必要なスキルアップを目的とした課題が少ない点が課題。特に、社会生活に必要な金銭管理や職業体験、日常生活スキルの向上を意識した取り組みが十分ではなく、将来の自立に向けた支援の充実が課題。	現在の活動は、楽しさや集団活動を重視したものが多く、生活スキルや職業スキルを身につける機会が不足している。 利用者様の多くが小学生であり、大人になるためのスキルを意識したプログラムの導入が必要。	・金銭管理（買い物体験、模擬通貨を使った練習） ・料理や掃除などの生活力を高める実践活動 ・施設内での簡単な作業体験（清掃や軽作業）を取り入れる。 ・保護者様と協力し、ご家庭でも取り組めるスキルアップの機会を提供する。
2	個別支援の時間が限られていること。 集団での活動を中心に支援を受けているため、個別のニーズに応じた時間を配分することが難しい状況。	個別支援の時間が限られているため、一人ひとりのベースやニーズに合わせた支援を十分に行うことが難しい。 大人になるために必要なスキルを育むプログラムが不足しており、将来社会生活に必要なスキルアップが十分に提供できていない。	興味や成長に合わせた多様な活動を提供し、社会生活で役立つスキルを実践的に学べる機会を増やす。
3			